

事業所名

sodachiba今光

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念

みんなが「らしく」育っていく場

支援方針

- ・支援者は「見守る保育」「コーチング」を軸に常に本人の目線で意欲や課題を捉え、児童の主体的な学び、発達を高める関わりを行います。
 - ・STEM教育に基づいた学習・活動機会を設け、児童それぞれの興味関心に応じて選択できるように支援します。
 - ・関係機関との連携を常に意識し、安心して過ごせる場所、人が増えていくようにインクルージョンの視点で支援を行います。
 - ・保護者へ連絡帳等を通じて児童の様子や支援の状況について情報の共有をしています。
- また、必要に応じて適時、電話や面談等でご相談の対応・意見交換を行います。

営業時間

8

時

30

分から

17

時

30

分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支 援 内 容

本人支援

健康・生活

- ・日常生活上必要なバイタルチェックなど健康状態を把握します。
- ・基本的生活スキルの獲得を目指し、本人の出来る範囲から身の回りの事が少しずつ自分で取り組める支援します。

運動・感覚

- ・日常動作での姿勢や身体や手先の使い方の向上を促します。
- ・鬼ごっこやボール遊びまたは活動などを通して、心身の発達を促すと共に筋力向上や感覚の苦手さなどにアプローチをしていきます。

認知・行動

- ・スケジュール表や視覚支援を活用して指示や活動内容がわかり、自主的な行動を促します。
- ・集団生活を通して時間や数等の概念形成を促し、適切な認知、行動の習得を支援します。

言語
コミュニケーション

- ・集団活動等の機会を通して言語や非言語のコミュニケーションにより、相手の意図を理解する事や自分の考えを伝えられるように支援します。
- ・活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援します。

人間関係
社会性

- ・多様な他者とのかかわりの機会及び環境を提供する事で人間関係の形成及び社会性の促進を促します。
- ・ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせた活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援します。

家族支援

ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施します。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施します。

移行支援

学童保育等を併用する場合の連絡調整を行い必要に応じて移行支援を行うと共に希望の進路先を見据え本人・保護者等との相談援助を実施します。

地域支援・地域連携

ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携を実施します。

職員の質の向上

年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施します。

主な行事等

避難訓練（年2回）、新入生との交流の場を設ける（4月）、公園遊びなど春を感じる活動を行う（5月）、梅雨に関するテーマで学びや活動を行う（6月）、夏休みの計画を子ども達で考える（7月）、子ども計画の実施（8月）、防災について考える（9月）、秋を感じたり、ハロウインの実施（10月）、季節の素材を活かした創作活動（11月）、冬休みの計画を子ども達で考える、クリスマス会の実施（12月）、子ども計画の実施（1月）、春に関するテーマで学びや活動を行う（2月）、1年間の振り返り（3月）